令和8年度当初予算　復活見積調書（部長）

総務部

■一般会計

（金額：千円）

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額	一財	内示額	一財	復活見積額	財源内訳 国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	査定額	財源内訳 国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	査定結果
1	税務課	賦課徴収費	固定資産税課税業務	相続関係業務の整理を行い、「本格的業務以外の業務」を正規から切り離し、会計年度任用職員へ割り振ることで、業務の効率化を図るとともに、正規職員が困難ケースへ集中して対応できる環境を整備することで、ケアレスミス等を防ぎ、適正課税につなげます。	▼令和8年2月上旬～　求人 ▼令和8年2月中旬　面接 ▼令和8年2月下旬　任用手続 ▼令和8年4月1日　任用開始	3,207	3,207	196	196	3,011	0	0	0	0	3,011	0	0	0	0	0	0	部長間調整により、措置しませんでした。
2	税務課	賦課徴収費	システム標準化に伴う家屋評価システム改修事業	地方公共団体情報システム標準化に伴い、固定資産（家屋）課税事務における評価・調査・照会等の業務支援機能を有した家屋評価システム「HOUSAS」とのデータ連携にかかるシステム改修のための委託業務となります。 令和7年度に本システム改修業務を執行していたが、標準化システムへの移行が延期となり、本システム改修業務が未完成のまま完了となったため、未完成部分を令和8年度のシステム標準化に合わせて実施するべく必要な委託業務費を要求するものです。	▼令和8年9月まで 仕様書最終調整 見積徴取 契約締結、業務開始 ▼9月移行 システム標準化移行 家屋評価システム連携テスト 業務完了、検査、支払い	0	0	0	0	704	0	0	0	704	0	704	0	0	0	704	0	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
					部合計	3,207	3,207	196	196	3,715	0	0	0	704	3,011	704	0	0	0	704	0	